

「武雄の宣伝隊」300人達成!

「がばい武雄インターナショナル宣伝隊」の隊員が9月5日、300人を突破しました。この宣伝隊は、パスポートの取得、更新が今年2月から市役所でできるようになったことに伴い、希望者に武雄の宣伝隊となってもらい、特製名刺でふるさと「武雄」を世界にPRしてもらうものです。

300人目となった太田雅士君（武雄町・12歳）には、記念の「楼門朝市商品券」が贈られました。太田君は「光栄です。これまで様々な外国に行ったけど、今度は希望する中学校の修学旅行でイギリスへ行って、武雄を宣伝して行きたいです。」と話していました。



全国和牛能力共進会出場

8月7日、多久市の経済連畜産センターにおいて開催された第9回全共佐賀県最終予選審査会において、武内町の池田金次さんの「つゆこ号」が佐賀県代表（若雌の区）に選ばれました。

池田さんは、10月11日から4日間、鳥取県において全国より種牛300頭あまりが集まり開催される「第9回全国和牛能力共進会」に参加されます。この大会は日ごろの育成成果を競う全国大会として5年に1度開催されるものです。

池田さんの「つゆこ号」は佐賀県代表4頭のうちの1頭として出場され、活躍が期待されます。



武雄市総合防災訓練

9月2日(日)、市内各所において武雄市総合防災訓練が行われました。

今回の訓練は、大雨による土砂災害、浸水災害と震度5強の地震が発生したと想定しています。

午前8時30分に災害対策本部を設置し、災害対策本部会議を開催。樋渡啓祐市長の指示で避難所の設営や避難誘導などを実施しました。

市内の各所では、市民による避難所への避難訓練や、武雄消防署による初期消火訓練と応急手当訓練が行われました。また、災害備蓄食料（アルファ米、ビスケット、カンパン）の試食や、佐賀県による防災出前講座も行われました。

訓練は11時00分に災害対策本部を解散し、災害情報連絡室による警戒を継続し、12時00分に終了しました。

今回の訓練には約1000人が参加しました。

